

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
観光プランニング実践		JR時刻表検索と運賃料金計算のエキスパートを目指して		手塚 郁子	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	JR時刻表の活用・JR旅客営業規則・運賃計算の特例・料金計算の注意点			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		「観光学概論」「観光関係法規」「旅行実務論」「観光文化資源論」「観光地理」				
講義の目的	時刻表の巻末にあるJRの営業案内(ピンクページ)についての適用ルールを習得するとともに、時刻表から鉄道旅行ルートを作成することにより、時刻表を読み込む力、使いこなす力を養います。主に鉄道旅行のプランにおけるJR旅客営業規則に基づいた正しい運賃料金計算と、その根拠となる説明ができる能力を身につけることが目的です。					
到達目標	JRを中心とする営業規則に則った運賃計算方法を習得し、それらを踏まえたうえで応用力を身につけます。さまざまな条件に基づいて算出される運賃について、その正しい説明ができるようになることを目標とします。					
講義内容	鉄道旅行を中心とした「旅行プラン作成」のために、規則に則った正しい運賃計算方法の学習をします。さまざまな特例を復習しながら、鉄道旅行のルートや日程に基づいた適切な計算方法を考えます。そのうえで運賃を算出するために必要な距離を時刻表から割り出していきます。これらの過程やその根拠など必要事項を細かに書き出し、それらに基づいた計算式をたてた上で算出された運賃料金計算の課題を毎回提出してもらいます。講義よりも課題実践演習の時間が主になります。以下の講義スケジュールの順序は、皆さんの理解度やその他の状況により、入れ替わることがあります。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	授業概要	授業内容ならびに履修のための注意事項等の説明			
	第2講	1年次「旅行実務論」復習	1年次に学習した「旅行実務論」の全体概要を復習する			
	第3講	運賃計算の基本	運賃計算の基本的なルール(片道・往復・連続乗車券)			
	第4講	時刻表の使い方と活用法	時刻表の引き方・利用法の確認と実践・距離の割り出し			
	第5講	さまざまな運賃表	さまざまな運賃表による運賃計算(1年次未使用の運賃表)			
	第6講	運賃計算の特例(1)	運賃計算の特例(新幹線と在来線並行区間の特例)			
	第7講	運賃計算の特例(2)	運賃計算の特例(特定都区市内)			
	第8講	運賃計算の特例(3)	運賃計算の特例(経路特定区間)			
	第9講	運賃計算の特例(4)	運賃計算の特例(区間外乗車)			
	第10講	運賃計算の特例(5)	運賃計算の特例(大都市近郊区間)			
	第11講	プランニング演習(1)	プランニング課題作成条件提示と注意事項(プラン構想)			
	第12講	プランニング演習(2)	(構想をもとに具体的にプランを設計する)			
	第13講	プランニング演習(3)	(設計したプランの距離割り出しと、計算方法の熟考)			
	第14講	プランニング演習(4)	(プラン全体の見積作成)			
第15講	プランニング最終提出日	(プランと見積書の点検)本試験における注意事項の確認				
指導方法	全体講義は運賃計算の特例を中心に行います。その後時刻表を使ってキロ数を割り出し、条件や行程に合わせた運賃料金計算の演習課題を行い、毎回提出し積み重ねていきます。演習時間を利用して個別に質疑応答に対応します。毎授業時の提出物は合格するまで再度提出が必要です。					
事前学習	事前学習は、1年次前期に学んだJR運賃料金の計算方法を確認することです。JR時刻表の使い方が不得意な場合は、時刻表の索引地図を見て興味のある地域のルートを確認し、キロ数の割り出しをするためにわからないことなど、質問事項を用意しておくことです。1時間程度が目安です。					
事後学習	事後学習は、授業内で学習したこととその日の課題や前回の課題について、時刻表と照合しながら確認を行い、その知識を定着させることが必要です。1時間程度の学習時間が目安になります。					
成績評価方法	「本試験(筆記試験)」(50%)、「平常点(授業内課題)」(0~30%)、「平常点(プランニング課題)」(20~30%)ただし、授業内課題が合格にならないとプランニング課題の提出はできません。プランニング課題未提出の者、出席率が2/3未満の者は評価の対象外となります。					
テキスト	『JR時刻表』(大型2023年10月号)授業内はもちろん、定期試験も時刻表持込必須のため必ず購入してください。					
参考書籍	『2021旅行業務取扱管理者シリーズ TEXT 3 運賃料金』(株)エフィカス 2021年					
特記事項	1年次前期の「旅行実務論」の応用編なので、「旅行実務論」を履修しておくことが必要です。					